



指差し確認 安全運行

東京急行電鉄株式会社・東横線車掌
成田 朋未さん

労働法改定で女性の深夜労働が解禁になって以来、鉄道、消防、警察、運輸などいわゆる「男性職場」で働く女性を目にすることが多くなりました。

成田さんもその一人。東京急行電鉄株式会社東横線初の女性車掌です。渋谷―元町・中華街間を走る東横線・みなとみらい線に勤務しています。

「お客さまを安全に、時間通り、目的地にお送りすることが、私の使命です」と、仕事の面白さと使命感に燃えに燃えています。

でもなんで車掌さん？ 鉄道ファンだったのかというと、それほどでもなかったようで「人と接するのが好き・大きなものを動かすのが好き・制服が好き・負けん気が強い」といったところ。ところが入社し、現場（駅）配属↓その後試験を受けて車掌↓さらに経験を積み国家試験にパスして運転士というステップを知った時、「運転士までいきたくない」と俄然心に火がついたと言います。

「駅」での4年間は、改札や定期券販売、具合の悪くなった方や迷子への対応などお客さまのあらゆる要望に臨機応変に伝える力を培いました。女性だからこそできる細やかな気配り目配り、逆に「女性だからやらなくてよい」と言われるような場面では「男性には負けない気持ちで」臨んできたと言います。

今でこそ女性の車掌職は100人近くいるそうですが、当時、東横線に配属されたのはわずか4人。当初は勤務地に女性トイレが少なかったり、仮眠室がない駅舎があったりと設備面での課題も。それもここ2〜3年で女性車掌が急増、環境も良くなったとのこと。

目標は運転士！

しかし何えは勤務形態はハードです。泊りは5日に1回。その日は19〜20時に出勤し終電まで乗務、一度、睡眠を取って始発電車に乗務90分。その後、再び睡眠を取って午後の乗務といったローテーションは、慣れるまで体力的には厳しかったと言います。ですから今も体調管理や体のリズ



Tomomi Narita

ムづくりは大仕事。リズムを崩さないことは「仕事の基本のキ」と、日ごろから栄養バランスを考えて自炊、風邪をひかないように心掛けているそうです。

車内アナウンスの大半は自動音声ですが、残りを臨機応変にアナウンスするのも車掌の役割です。また、停車中は幾つものモニター画面から目を離さず、扉を安全に開閉するだけでなく、車両の最後尾がホームから抜けるまで安全確認に目を凝らし、非常ブレーキをかける重責も担います。そんな中、

ダイヤが乱れたときなど有事の際には、正確な情報をいかに早くお客さまに伝えるか、スムーズな対応をするかなど、素早く行動できるように意識しているとも。こうした気の抜けない緊張感が、やりがいに繋がっている様子が伝わってきます。

夢を伺うと「小さな女の子が将来は先生とかお医者さんとか言うように、車掌さん、と言ってもらえること！」。結婚については、まだ考えも及ばないとのこと。仕事に全力投球している成田さん、制服、制帽が実に似合っています。